

【学校へのBLS教育導入に関する検討委員会】

報告日：令和2年8月26日

【委員長】 名知 祥

【担当理事】 田中 秀治

【活動内容】 (平成31年4月1日～令和2年3月31日迄)

1. 委員会開催日および議事内容

(開催日)	(議事内容)
令和2年11月14日	日本AED財団 school 部会との合同会議 平成30年度活動報告と令和元年度(2019年度)の活動計画 関連学会等での活動や日本AED財団 school 部会の活動など

2. 報告内容

本委員会は「学校教育に実技実施を伴う救命教育を導入・普及する事」を目標に活動している。これは、院外心停止の救命率向上のために活動している国際的なネットワークである GRA (Global Resuscitation Alliance) が提唱している 10 steps の 1 つ「学校とコミュニティにおける CPR・AED トレーニングを義務化」に当てはまり、世界の潮流に沿った活動となっている。

平成31年(令和元年)度も日本AED財団 school 部会と連携をしながら、本委員会は学術的な役割、school 部会は実務的な役割と役割分担することで、より効果的に学校での救命教育導入の更なる促進を目指して活動を行った。

<平成31年(令和元年)度 主な取り組み>

- 1) 第28回全国救急隊員シンポジウムでシンポジウム「学校へのBLS教育導入」
 - ・学校への心肺蘇生教育導入に関する各地の取り組みを紹介
 - ・消防としてどのように学校の救命教育へ携わっていくことができるかをテーマに情報共有と意見交換
- 2) 日本AED財団 school 部会との連携
 - ・委員会は学術的な役割、school 部会はコンテンツやイベントなど実務的な役割
- 3) 日本AED財団と学校での緊急時対応計画：EAP (Emergency Action Plan) を作成
https://aed-zaidan.jp/user/media/aed-zaidan/files/download/School_EAP.pdf
- 4) 全国学校安全教育研究会との連携継続
- 5) 日本AED財団 school 部会フォーラムを共催 (令和2年2月5日 大阪市)
 - ・公開授業とシンポジウムを開催
- 6) 学校教員のサポートとなるような精神的サポート・ケアに関わる取り組み
 - ・バイスタンダーサポート特別委員会と共同で検討

【活動計画】 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

活動13年目を迎える令和2年度(2020年度)も、引き続き学習指導要領の改定を見据えた「学校での救命教育導入の更なる促進」を目標にする。そのためには

1. 教員養成課程へのBLS教育の導入促進
2. 学校内でBLS教育を実施するための教員への支援
3. 学校安全・危機管理マニュアルへのBLS導入促進

を具体的目標として、日本AED財団 school 部会と緊密に連携しながら教育現場と医療側の連携方法や、教員養成課程や教員に対する授業方法の伝達を検討していく。

また、JRC 蘇生ガイドライン2020作成への協力を行い、学校教育強化への発信につなげていく。